



今後の展望

日本における経済成長と雇用回復のための政策

2013年2月7日 午後3時-5時

帝国ホテル東京 4階 桜の間

過去20年間、日本の年間GDP成長率は3パーセント以上下落し、先進国の中でも最も低い水準となりました。2011年の東日本大震災からの急速な回復にも関わらず、持続的な成長の達成は依然不透明な状態が続いています。急速に進む高齢化、高水準の公的債務、激しさを増す輸出競争の中で、日本の成長政策への再考が必要とされています。今回のセミナーでは、今後の展望、経済成長に求められる政策についての議論が行われます。

プログラム (暫定)

- 3:00 p.m. 開会挨拶：中尾武彦 (財務省財務官)
- 3:15 - 4:00 p.m. セッション1 日本が経済成長のために克服すべき課題
司会：ジェラルド・シフ (IMF アジア太平洋局副局長)
プレゼンテーション1：ステファン・ダニンジャー (IMF アジア太平洋局 日本担当課長)
プレゼンテーション2：マルティン・シュルツ (株式会社富士通総研 上席主任研究員)
- 4:10 - 5:00 p.m. セッション2 今後の展望 - 日本における経済成長と雇用回復のための政策
ラウンドテーブル・ディスカッション
司会：ヘンリー・トリックス (The Economist 誌 東京支局長)
パネリスト：伊藤隆敏 (東京大学大学院経済学研究科教授 兼任 東京大学公共政策大学院院長)
加藤隆俊 (公益財団法人 国際金融情報センター理事長)
イエスパー・コール (JP モルガン証券 調査本部長・株式調査部長/マネジング
ディレクター)
中尾武彦 (財務省財務官)
清家篤 (慶應義塾長・慶應義塾大学商学部教授)
- (4:45 - 4:55 p.m. 質疑応答)